

学校だより



令和3年5月31日
横浜市立二谷小学校
校長 矢島 孝幸

豊かな学び

学校長 矢島 孝幸

例年になく早い梅雨入りが予想され、過ごしにくい日々が続く毎日です。そのような中、元気一杯に活動している子どもたちの姿を見ていると不思議と活力がみなぎってきます。子どもたちがもっているパワーには驚かされるばかりです。先月の学校だよりで二谷小のいいところを紹介しました。そのひとつが「あいさつ」です。朝の登校時の「おはようございます！」の元気な声、廊下や教室で「こんにちは！」の明るい声、日常生活の中であいさつをすることが習慣づいていると日々実感しています。あいさつは、心と心をつなぐとても大切なものです。あいさつをあたりまえにできることは安心して生活する基盤となります。あいさつができる子どもがたくさんいることが二谷小学校の良さとしていつまでも続いてほしいと思います。また、学校だけでなく、家庭や地域でも気持ちの良いあいさつが溢れることを期待します。

先日の Zoom による懇談会では、多くの保護者の方々にご参加いただきありがとうございました。初めての試みで、テスト段階からご協力いただいたこと、誠に感謝申し上げます。ご不便をおかけした点多々ございますが、皆様のご理解とご協力のおかげで無事に進行することができました。また、その後のアンケートへの迅速なご回答もありがとうございます。「今後もオンライン（ロイロノートによる録画配信）での懇談会を継続してほしい。」「オンラインの方が参加しやすい。」「やはり保護者同士の交流も必要だと思う。」「学校で対面での懇談会を開催してほしい。」等、それぞれのご意見を頂戴致しました。今後は、世の中の状況を鑑みつつ、それぞれのメリットを生かして開催できるよう教職員で吟味し、進めてまいりたいと思います。新しい開催方法を見いだせたことは、学校としても大きな成果を得たと考えております。

子どもたち一人に一台 iPad が配当されました。Zoom 懇談会同様、子どもたちの学習形態に変化が生じてきました。iPad をフルに活用して課題解決に必要な情報を見つけたり、互いの学習状況を見合ったり、共有したりしながら学びを深めていく学習が展開されています（今は主に高学年中心ですが）。今まさに目指している学びの姿です。その一方で、やはり「本物に触れる」「体験を伴う」学びの良さも忘れてはいけません。目の前にある



植物をじっくりと観察して、自分が見つけた特徴を丁寧に表したり、手触りを感じたりしながら学びを深める学習も大きな価値があります。今後、世界へ羽ばたく子どもたちに情報収集・情報活用能力を育むことは絶対に必要なことです。これらの資質・能力を身に付けつつ、「人」や「もの」とのかかわりを通した学習も大切にして日々の活動を進めていきたいと思

います。急速に変化する社会に対応しながら、これまでの価値ある教育活動にも磨きをかけて二谷小の子どもたちを育てていきたいと思

います。一昨年度まで行っていた特設クラブ（鼓笛隊・合唱）は、感染拡大予防に向けて今年度も中止といたします。楽しみにしていた子どもたちにとって残念なことではございますが、ご理解いただければと思います。まだまだ新型コロナウイルスを見据えた中での活動が続きますが、今後とも保護者・地域の皆様のお力添えとご協力をよろしくお願

